



徳成寺 寺ともかわら片友

第184号 2022年4月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

この度、第三次大戦になりかねない戦争が引き起こされ

ました。二十世紀に世界中の人々が戦争で散々な目に会った

にもかかわらず、またしても軍勢力によって野望を果たそうと。

国連やEU、そして日本国憲法が生まれたのも、二度の世界大戦を

経験した人類の学びからであります。問題解決の手段として暴力では

なく、話し合いによってなされるべきであると。人類は、二足歩行し

火や道具を使い、言葉を話して意思疎通できるように進化したはずですが、

人間を放棄して野蛮に逆戻りしたかのようです。人間のいのちに西側も東側も

ありません。踏みにじってもいい、いのちなどこの世に一つもないはずです。

この野蛮な現実を押し頂いて、一層願わずにいられない平和を実現して参りましょう。

- 発行責任者 -

住職
大山健児

坊守
大山ひびみ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっています、副住職です。

ミネラルウォーターを3ケース買ってきました。水を担いで階段を上がるのはものすごく大変でしたが、妻が入れ替えの為に廃棄になった職場の防災用食品を持って帰ってきたので、少しずつ始めようと決意しました。内閣府によると1人あたり3L×3日分用意すると水道復旧までの飲料水が確保できるので、2人暮らしの私たちだと3ケース分のお水を用意しておくという事でした。法事やお参りの際に高松は災害がなくて、気候も温暖で良いですねと言う話をする方は非常に多いです。私もその通りだと思ふ反面、先月宮城県で震度6の大きな地震が起きましたし、四国でも冬湯水に見舞われていました。高松は災害が〜と言うのもいつまでその通りなのか分からないので、お水くらいは用意して置いても良いのかなと思いました。写真はお笑い芸人トリオ、ハナコです。昨年の防災の日のキャンペーンCMで大事な人に水と灯りを贈ろうというストーリーです。

